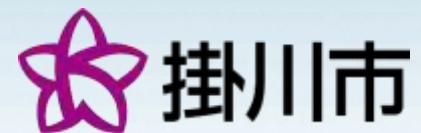


ESD推進ネットワーク
第9回地域フォーラム in かけがわ
ご出席の皆さま



サステナブルのその先へ

だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ

2026年1月24日

掛川市 副市長 石川紀子



はじめまして、掛川市 副市長 石川紀子です。



引用：静岡県掛川市の改革、始動。「2人目」の副市長」含む3つの新設ポジションを公募
ソーシャルインパクト採用プロジェクト by エン・ジャパン
https://www.enjapan.com/project/kakegawa_2110/



引用：2022年2月23日放送 SBSテレビ「ORANGE」
SBS(静岡放送)YouTube公式チャンネル <https://youtu.be/cY5J0TY80OQ>

- ◆ダイバーシティ
- ◆DX
- ◆働き方・働きがい改革
- ◆グローバル戦略
- ◆広報・シティプロモーション
- ◆観光振興
- ◆ふるさと納税
- ◆空き家対策 など

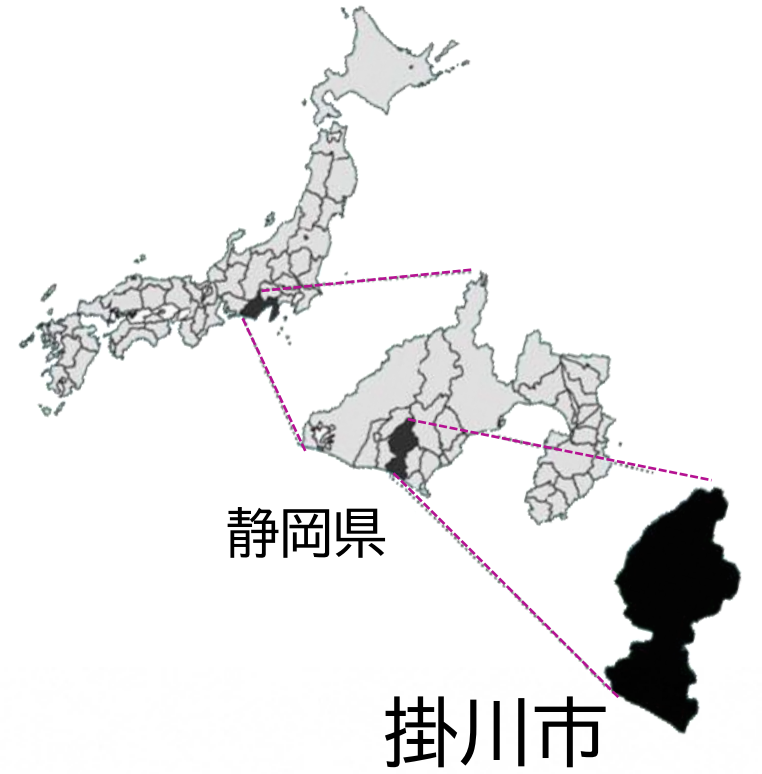
2つのCDOを兼任 : Chief **D**igital **O**fficer
: Chief **D**iversity, **E**quity & **I**nclusion **O**fficer



ご存じですか？ 掛川市

人口:114,223人(48,583世帯)

お茶、歴史文化、温暖な気候、
アクセスの良さ、などなどあるけれど…



圧倒的な市民力！

私たちの誇り
自分たちのまちは自分たちで創るという
圧倒的な『市民力』



学びも、まちづくりも、市民総ぐるみ



◆報徳の教え(至誠、勤労、分度、推譲)



二宮 金次郎(尊徳)



道徳門・経済門

◆生涯学習都市

- 全国で最初に生涯学習都市を宣言
(昭和54年)
- 学びを自己の充実だけでなく、
まちづくりに生かすことを宣言

大谷翔平さんの母校、花巻東高校は「報徳思想」が建学の精神。
渋沢栄一さん、松下幸之助さんなどの財界人や経済人にも大きな影響を
与えたと言われているよ。



市民が思っている 「掛川のあたりまえ」は、 フツーじゃない！

フツーじゃないことをフツーにやっている！すごい！！



ごみの排出量が少ないまち掛川 ～14年連続トップ3入り～

「積小為大」「地域・環境・未来」への意識が高い掛川市民の市民力！！

◆過去の順位

年度	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)
順位	1位	1位	2位	2位	2位	2位	2位
1人1日あたりの ごみ排出量	642.5g	653.7g	651.3g	648.1g	651.1g	658.0g	641.2g

年度	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
順位	2位	3位	2位	1位	1位	2位	2位
1人1日あたりの ごみ排出量	637.2g	645.7g	627.2g	616.1g	622.6g	614.5g	595.0g

令和5年度 環境省一般廃棄物処理実態調査実態調査（人口10万人以上50万人未満の部）



“もったいない”を合言葉にカーボンニュートラルを推進する条例を施行



2024年4月1日スタート

もったいないとは・・・

- 資源を無駄にすること
- 資源が無駄にされている現状を知らないこと
- 資源が無駄にされている現状を知らない人にその情報を伝えないこと
- 資源を無駄にしないための行動を起こさないこと



市民の寄付により実現した事業



掛川城 天守閣
約4.7億円



新幹線 掛川駅
約30億円



JR掛川駅木造駅舎
約6,800万円

掛川市民は、地域の発展のために協力&行動し続けてきたんだよ

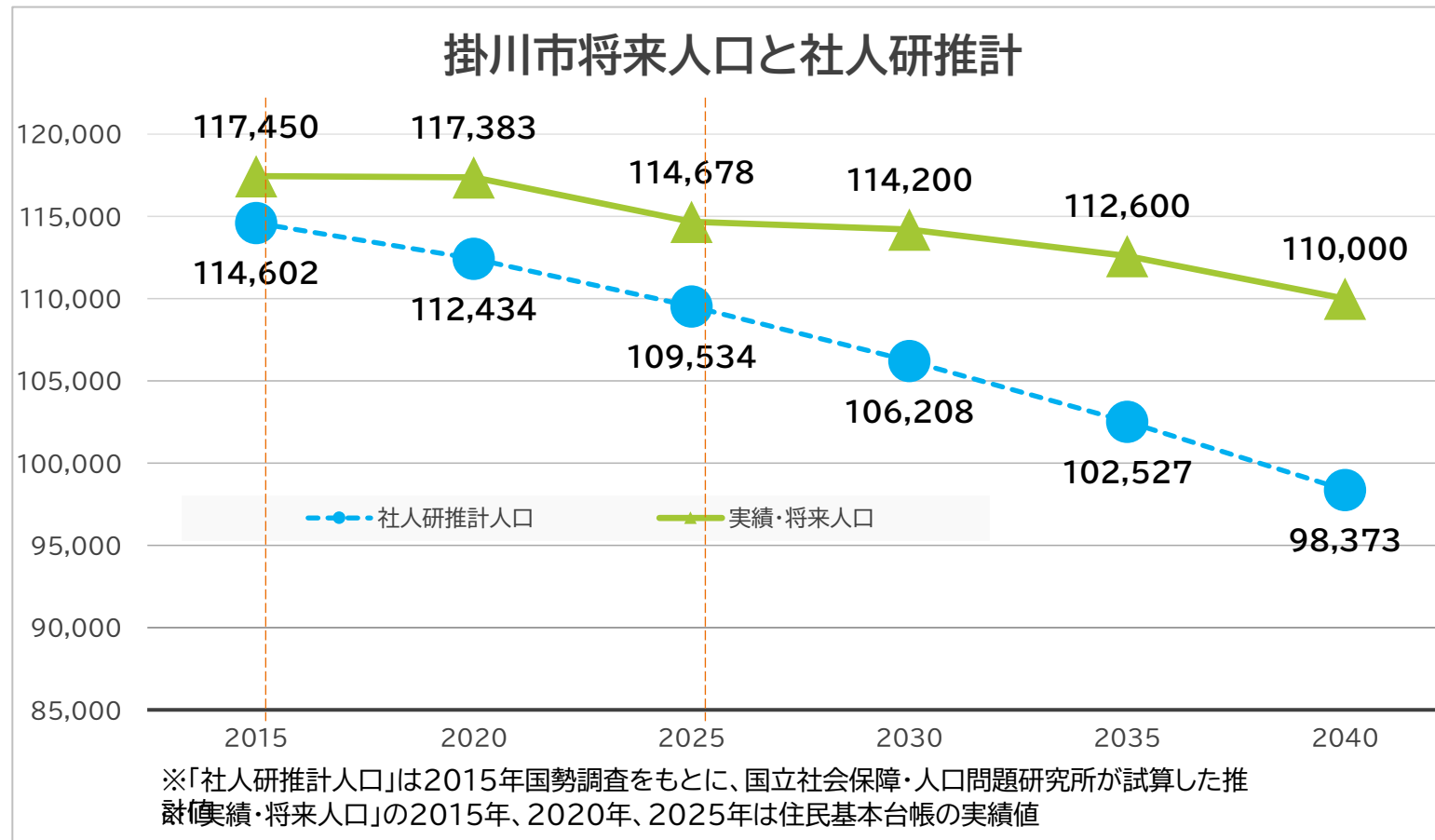


掛川は
市民の総力、協働で
持続可能(サステナブル)な
まちづくりを進めてきました



掛川市の人口推移

2015年からの10年間で**約2,800人減**
人口減少 × 多様化する市民ニーズ × 限られた人員 ➡ どうする！？掛川



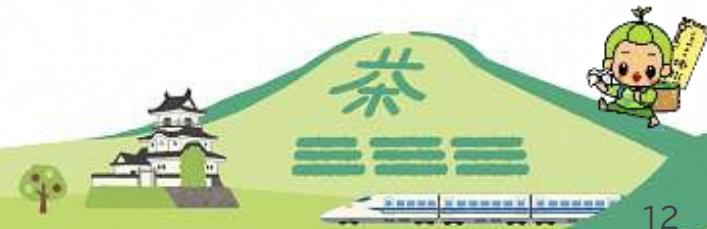
【将来人口の算出方法】

- ・推計方法
基準値を2020年12月末住民基本台帳の実績値とし、コホート要因法により算出
- ・合計特殊出生率
2040年に国が目標とする希望出生率1.80となることを仮定
- ・移動率
コロナ以前（2015年～2018年）の移動率を仮定



どうする、掛川

- ・眠っている力を存分に発揮できるようにする(DEI)
- ・進化する & 新しい武器を手に入れる(DX)



DEIは掛川のまちづくりの最重要テーマ

「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)」とは

Diversity

ダイバーシティ

多様であること



「多様性」を意味する言葉。性別、年齢、国籍、障がいの有無、価値観、働き方などさまざまな違いを持つ人が地域・社会、組織の中で共存していることです。

Equity

エクイティ

公平なこと



「公平性」を意味する言葉。多様性を前提に、一人ひとりに必要な機会や情報が提供されていることです。

Inclusion

インクルージョン

受け入れること



「受容、包摂」を意味する言葉。全ての人が地域・社会に参画する機会を持ち、一人ひとりの違いや強みを尊重し合い、能力や特性を発揮できることです。

すべての市民が自分らしく能力や特性を最大限に発揮できること、そして、お互いの違いを尊重し、強みを生かし合えることが持続可能なまちづくりにとって、とても重要です。



広報かけがわ 2024年3月号



DEIは、掛川のまちづくりの最重要テーマ

ちがいを、チカラに。

【切実な課題】

- 労働力不足
- 担い手・後継者不足
- 人口減少・流出
- 空き家、空き地、空き店舗



【DEIで実現】

- 事業や歴史・文化の継承
- イノベーション創出 ➡ 地域の活性化 など



どうする、掛川

- ・眠っている力を存分に発揮できるようにする(DEI)
- ・進化する & 新しいツールを手に入れる(DX)





掛川市のデジタル月間(10月)イベント

デジタル庁が設定した「デジタル月間」に合わせて、DXやテクノロジーを身近に感じたり、便利だと実感できる機会を創出しています

期 間	内 容
9月25日	コンビニ交付PR動画リリース
10月1日	新たなモビリティ運用開始 AIオンデマンドバス、スモールモビリティ
10月1日	掛川自動車学校様でのコンビニ交付案内スタート (次)
10月7日	島田掛川信用金庫様でのコンビニ交付案内スタート (次)
10月25日	掛川百鬼夜行でアバター&マイクラ高天神城体験会
10月23日～27日	「歩行姿勢測定」体験会
10月～11月	市役所テレワーク月間
11月14・21・26日	市民向けスマホ講座
11月15日	掛川どぼく塾でVR体験会



(株)パソナグループ様
©AVITA
未来の窓口をイメージした
アバター



マイクラフトで
高天神城を探検

窓口に行かなくてもいいんです

市では日々進歩するデジタル技術を活用し、みなさんの生活を今よりもっと便利にしていこう(DX:デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。

手のひらに市役所が!

これまで窓口に行くことが当たり前だった市役所のさまざまな手続きも、今ではその多くがスマートフォンや近隣のコンビニでもできるようになっています。これからますます便利になる未来の窓口を、ぜひ動画からのぞいてみてください。

えっ、2人に1人がコンビニで?

Q コンビニで証明書を取ったことがありますか?

いいえ 40%
はい 60%

◆住民票
◆印鑑登録証明書
◆課税証明書
◆戸籍証明書
◆戸籍附票

全部コンビニで取得できます

オンライン申請、続々追加!

- ◆国定資産地などの口番変更申請
- ◆子ども医療費助成(受給者証)の交付申請
- ◆国民健康保険加入・脱退申請
- ◆ペットの登録費
- ◆国定資産地 家賃を取り壊したときの減価償却

今年もやります、デジタル月間!!

どんなでも参加できるイベントが目白押し。ぜひこの機会に体験してみてください!

10/1(土)

◆スモールモビリティ

10/1(土)

◆AIオンデマンド交通

10/25(土)

◆掛川百鬼夜行

今年もアバター体験ブースを出展!



これからの掛川は
DEI、DX、共創で
進化し続ける
まちづくりを進めていきます



サステナブルからリジェネラティブへ

持続可能な社会をベースに、一步先の「再生と進化」にチャレンジ！

◆サステナブル(Sustainable) = 持続可能(維持型)

- 環境・社会への悪影響をこれ以上増やさず、「今の豊かさを減らさないように守る」
 - 今あるものを維持する(守りながら続ける)
 - アクション: 負荷を抑え、今ある状態を次世代につなぐ

◆リジェネラティブ(Regenerative) = 再生型(再生・進化型)

- 使うほどに、関わるほどに、環境やコミュニティが元より良い状態に“再生・進化”していく
 - 再生しながら進化・発展していく(育てながら良くする)
 - アクション: 自然やコミュニティの力を回復・再生し、関わるほどに良い循環が育つ

※リジェネラティブは「環境・社会・経済のシステム全体が、時間とともに再生・発展し、ネットポジティブ(プラスの状態)を作り出すこと」を指す概念ですが、本資料では上記のように分かりやすく整理しています。



DEI、DX、共創の事例

かけがわダイバーシティカフェ

掛川市は「DEI」について知っている人が増え、すべての市民がお互いのちがいを尊重しながら個人の能力や特性を最大限に発揮できるまちを目指しています。地域のなかでちがいのある人同士がどう共に生きていけるのか、だれもが社会参画ができる社会の実現について一緒に知り・考え・話してみましょう。

イベント概要

令和8年 1月17日(土)

■時間 13:30-16:30 (受付開始 13:00)

■会場 掛川市役所 食堂 (掛川市長各一丁目4番地の1 掛川市役所2階)

■対象者 どなたでもご参加いただけます

■参加費 無料

■情報保障 手話通訳あり

■定員 70名

■お申込み 二次元コードにてお申込みください

詳細とお申し込みはこちら▼



基調講演

多様性が生み出すイノベーションの力



高垣内 文也 氏

株式会社ENCHORD代表取締役CEO、
一般社団法人ヤングケアラー協会理事、
株式会社オジョ研究所部長



トークセッション・ワークショップ

外出が難しい人と社会を結び～だれもが自分らしく活躍できるまちを目指して～

■ゲスト



田中 宏和 氏

リモートロボティクス
株式会社
代表取締役社長

■モデレータ



石川 紀子

掛川市副市長兼CDO
(チーフダイバーシティオフィサー・
チーフデジタルオフィサー)

トークセッション後は、掛川市の未来について、登壇者を交えて対話しましょう

主催：掛川市 企画/運営協力：認定NPO法人ReBit

お問い合わせ先：掛川市企画政策課 (0537-21-1208)



静岡新聞DIGITAL 2025年12月16日



静岡新聞DIGITAL 2026年1月18日

ご参考: DEIの取り組み認定



静岡県内 自治体で初！
「PRIDE指標2025」ブロンズ認定



「D&I AWARD 2025」
アドバンス 初認定



これからの掛川のまちづくり: サステナブルからリジェネラティブへ

だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ

